

県議選



川口えみ

県議の議席を守りました！伊藤とし子から、川口えみへのバトンタッチは、市長選・市議選の前哨戦でもありました。コロナ対策、水道料金、学校教員の不足を伝え、遠い存在と思う県が、暮らしに関わる身近なものとして感じられるよう訴えました。これからも市民の声を伝えていきます。

37年間地域政党として取り組んできたテーマ「平和と人権を守る」のもとに、「税金はいのちと暮らし最優先に」を訴えた選挙でした。

前半の県議選では佐倉市・酒々井町選挙区に新人の川口えみが当選、千葉市議選には新人3人のうち、美浜区の黒澤和泉が当選しました。後半の佐倉市議選では県議を交代した伊藤とし子とともに、五十嵐ともみ、松島こずえも上位当選を果たしました。いずれの選挙でもコロナ、防災、通学路の安全対策、福祉、介護、環境、まちづくりなど生活に密着する課題を市民目線であぶりだし、辻々で訴えました。

県議選では「財政力指数が全国第5位なのに、教育と医療で全国ワーストが2つもある」「教職員未配置数は420人（2023年1月1日時点）。教員不足は子ども

たちにしわ寄せが出ている」「発熱外来数（10万人当たり）、医師・看護師の数もワーストレベルで喫緊の課題」と訴え、また、通学路の歩道整備や安全性の向上、有機農業とオーガニック給食の推進など、実績を交えながら更なる前進を約束しました。

後半の佐倉市長選では弁護士市民派市長候補清田のり子さんを応援。大型公共事業中心から「福祉の町に大転換」を掲げ、現職（大政党大連立）VS草の根市民の集まりの実質一騎打ちはずかずか185票差で惜敗しました。

今回の統一地方選では投票率の低下が加速しました。政治と暮らしは密着しています。市民ネットワークは投票率アップをめざし、市民の声を大切に活動を上げていきます。

市民の議席をめざした
統一地方選挙

市民ネットワーク千葉県 共同代表 伊藤とし子

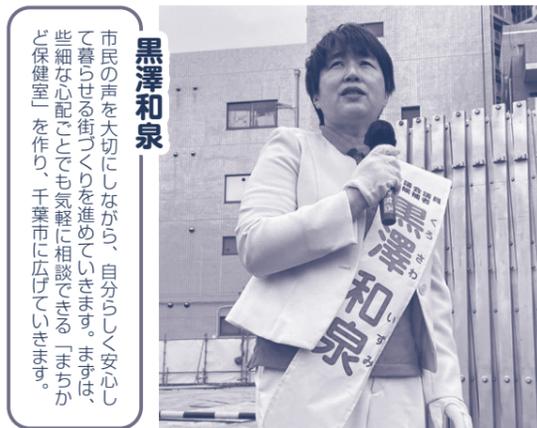
市議選



金川エリ

3326票を託してくださいました全ての方からのご恩を決して無駄にいたしません。より良い社会を目指して、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

やまさき裕美子
粉じん問題、学校はもちろん多様な学びの場の確保、安全に気遣って移動しやすい街、地域をつなぐ支援、取り組みたい課題は盛りだくさんです。四年後に向けて、活動を積み上げていきます。



黒澤和泉

市民の声を大切にしながら、自分らしく安心して暮らせる街づくりを進めていきます。まずは、些細な心配ごとでも気軽に相談できる「まちかど保健室」を作り、千葉市に広げていきます。



伊藤とし子

得票3957票は議員16年間への評価と感謝。選挙戦では「税金の見張り番」として現市政の大型公共事業が総額100億円にも上り、市民福祉が削られてきた問題点を辻々で訴えました。



五十嵐ともみ

スポット演説を始める「応援していたところ、あちこちで声を掛けられ、反響の大きさを日々感じました。」「公共事業優先ではなく福祉の街への訴えを実現するためこれからも活動していきます。



松島こずえ

この4年間やってきたことをしっかりとアピールしました。現役子育て世代として、子育て政策と学校や教育について引き続き声を上げていきたいです。

選挙結果	投票日	選挙区		結果		得票数
		市議	県議	当選	落選	
4月9日 投票	政令市議 (千葉市)	美浜区	黒澤和泉	新人	当選	3159票
		中央区	やまさき裕美子	新人	落選	2698票
		若葉区	金川エリ	新人	落選	3326票
	一般市議	佐倉市	伊藤とし子	4期目	当選	3957票
		佐倉市	松島こずえ	2期目	当選	2642票
		佐倉市	五十嵐ともみ	5期目	当選	2413票

第30回 定期総会開催報告

2023年2月4日、千葉市文化センターにおいて久々にリアル開催されました。第1部の総会では、すべての議案が承認され、第2部では、世田谷区長保坂展人さんを迎えて、政策講演会「まちづくりのリアル」を開催しました。「エネルギーの自治体間連携」「被災地支援とグリーンインフラの展開」「参加と共同を掲げる熟議デモクラシー」「子ども子育て応援都市宣言」「若者支援と仕事・生活支援」「世田谷区モデルのコロナ対策」など、目からうろこの区独自政策を聴きました。初めて聞いた若い世代の会員からは、「自治体だけでも、こんなにたくさんの方ができるんだ」と驚きの声があがり、各ネットの政策提案に向けての学びとなりました。

運営委員 山田京子

女性議員が少なすぎる!!

国際会議の報道などを見ると、多くの女性リーダー達が活躍していることがわかります。日本の政治現場に女性が少ないのは、もはや異常事態かもしれません。

一昨年改正された「候補者男女均等法」は、女性議員を増やすための法律です。政党の候補者を男女均等にすると同時に、女性議員を増やす自治体の努力も求めています。市民ネットワーク千葉県の結成は1993年、これまで県議会や市議会に女性議員を62人送り出してきました。「生活者の政治」をめざし、保育環境の充実や学校給食、独居高齢者や食の安全など身近な問題を取り上げ、香害や化学物質過敏症、子どもの貧困などにいち早く眼を向けてきたのは、毎日の暮らしから政治を考えるネットの政治姿勢から生まれた結果です。

千葉県の男女平等に関する施策は、政治分野を含むあらゆる分野で遅れに遅れています。旧統一教会の家族感と類似した意見を持つ議員も多く見受けられます。市民ネットワーク千葉県は女性議員を送り出すだけでなく、このような問題にもしっかり取り組んでいきます。

今回の選挙では全国的に女性議員、女性首長が増えています。首長の交代により自治体経営も大きく変わることは、千葉県でも経験済みです。みなさんと一緒に千葉県を変えていきたいと思えます。

ジェンダーPJ まきけいこ

女性は立候補すること自体にハードルがある

2023年選挙(前半戦)女性候補者割合
 全国 15.6% (2019年12.7%)
 千葉県 16.0% (2019年16.3%)
 国の目標は35%



2023年選挙千葉県議会の女性議員 (2019年選挙)
 当選者 14名/95名 14.7% (11名/94名 11.7%)

電気の地産地消で脱原発を 市民ネットワーク千葉県おひさま発電所稼働中!

1月31日、私たちが出資して作った発電所が、匝瑳市で運転を開始しました。発電出力は49.5kW、家庭の屋根に乗っているソーラーパネルの約11軒分の規模です。

八日市場駅から車で10分ほど、ところどころに田畑がある場所に、発電所はあります。原発に頼らないエネルギーの創出と耕作放棄地問題。その両方を一度に解決できる取り組みが「ソーラーシェアリング」です。「匝瑳おひさま畑」が農地で作物を育て、その上部空間を使って「市民エネルギーちば株式会社」(みんエネ)が太陽光発電を行う仕組みです。

有機栽培で大豆と麦を交互に作付けすることで、植物の根の力が土地を生き返らせ、売電収入は耕作費用だけでなく、地域を支える「村づくり基金」としても活用されます。また、使用後の太陽光パネルを分別・リサイクルする手法も確立されています。

パリ協定に基づく達成目標「2030年度に温室効果ガスを、2013年度比で46%削減すること」を目指すために、事業化に比較的時間がかからない太陽光発電に注目が集まっています。今後は農地の所有者にも共感を広げて取り組みがさらに進むよう、情報発信に取り組んでいきたいと思えます。

また、現地ツアーを企画しますので、是非ご参加ください。

エネルギーPJ 岩崎明子



発電所の下には、6月頃大豆が植えられる予定です。

発電の規模などが書かれているプレート。

「市民ネットワーク千葉県おひさま発電所」の名称の大きな看板を設置する予定です。

区分	太陽光発電設備
名称	市民ネットワーク千葉県おひさま発電所
設置ID	A-241908C12
所在地	千葉県匝瑳市3340-1
発電出力	49.5kW
発電事業者	市民エネルギーちば株式会社
住所	千葉県匝瑳市 1027-1
連絡先	
立地	
連絡先	
撮影年月日	2023年1月31日



下から見上げた両面ソーラーパネル。間隔が広いので、作物に十分な日照を確保できます。

日本が大軍拡国家に!?

3月28日、国会で2023年度予算が成立しました。これにより「大軍拡予算」となる巨額の防衛予算も執行されます。報道では「5年間43兆円」という数字が強調されていますが、数字に表れない長期ローンも加えると実際は5年間で60兆円を超えます。「GDP 2%」など楽々と超えてしまうのです。

お金のことだけが問題なのではありません。この大軍拡予算は、昨年末に改定された「安保3文書」に基づいています。「憲法9条があるから戦争はしない」が根本から崩され、「先制攻撃」との区別がつかない「反撃能力(敵基地攻撃能力)」を持ち、もし日本への侵攻があれば「我が国が責任をもって対処」する、さらにそのための「国民の決意」すら求められています。増税による軍事費の負担もその「決意」に含まれるのでしょうか。大切な平和主義の理念が国会での議論もなしに一方的に破壊されようとしています。

私たちの市民生活も巻き込まれてしまう大軍拡国家への流れにどう対抗するか、ここで私たち市民・主権者の力が試されようとしています。昨年末「安保3文書」に対抗して「戦争ではなく平和の準備を」提言を発表した「平和構想提言会議」のメンバーであり、「武器取引反対ネットワーク【NAJAT】」代表として幕張メッセでの武器見本市への抗議活動にも深くかかわってきた杉原浩司さんを講師に、杉原さんの多彩な活動の経験から、私たちに何ができるのか、地域からできることは何かを提起してもらいます。

政策室長 吉沢弘志

戦争ではなく平和の準備を

“抑止力”で戦争は防げない

6月25日(日) 14時~16時

講師：杉原浩司さん (武器取引反対ネットワーク【NAJAT】代表)

お申込みはこちらから ▶ <http://pr2.work/0/kennet-sugihara>

参加費無料

各ネット連絡先	
市民ネットワーク・のだ ☎04-7123-6981	市民ネットワークわかば ☎043-284-2339
市民ネットワーク・ふなばし ☎047-426-8321	市民ネットワーク中央 ☎043-379-4958
さくら・市民ネットワーク ☎043-462-0618	市民ネットワークいなげ ☎043-379-4958
市民ネットワークちば ☎043-379-4958	市民ネットワーク花見川 ☎043-379-4958
市民ネットワークみはま ☎043-278-5005	市民ネットワークみどり ☎043-379-4958

地域ネットの活動から のだネット

大人の学校 ~社会科編~

のだネットでは私たちの生活に身近な事柄を学ぼうとDVD「利根川の流れを知る」鑑賞会に始まり、「水道について」「下水道事業について」「不燃ごみの行方」「野田市の自然を知ろう」という内容で野田市の職員に話を聞く機会を設けました。きっかけは市民の方からの「疑問に思っている事を聞くために市役所に行くのは敷居が高い」という意見です。そこで皆さんからどのような話を聞きたいか要望を出してもらい、市民ネットで学習会を企画することにしました。



コロナ禍になってから公共施設の部屋の収容人数が制限され、大勢集まるのが憚られるなか、毎回定員を超える程の申し込みがあり、関心の高さを実感しました。また市民ネットのことを知らない方達の参加があり、知ってもらえるきっかけにもなりました。



市の職員も次はどこの課に依頼が来るのかという良い緊張感があるようです。また「市民の皆さんに直接話をする機会を設けてもらって有り難い」ということでも言ってもらいました。

自分たちの住んでいる地域環境を良くしていきたいというのは皆さん同じだと思いますが、他人任せにしては何かかわりません。まずは地域の状況を良く知ること、そして意見を出していくことが大切です。1人で行動するのはなかなか難しいですが、市民ネットは行政と市民の架け橋になるという役目を担っています。今後も引き続き「大人の学校」の企画を通し、市の政策や税金の使い方に関心を持って頂けたらと思っています。

(市民ネットワーク・のだ 鈴木真理子)

市民ネットワーク・のだ <http://www.shiminnetnoda.sakura.ne.jp/>